

2017年10月5日

関係各位

宮城県生活協同組合連合会
会長理事 宮本 弘

宮城県知事選挙に関する生協の立場についてのご報告

日頃より当会の諸活動にご高配賜り厚く御礼申し上げます。

当会会員生活協同組合あいコープみやぎの前専務理事多々良哲氏が、10月5日告示、10月22日投開票の宮城県知事選挙に立候補するとの報道がありました。生協への問合せ等が想定されることから、宮城県知事選挙に関する生協の立場についてご報告いたします。

多々良哲氏は、個人の活動として、市民団体「県民の県民による県民のための新しい知事を選ぶ会」の活動に参加し、9月25日付で生活協同組合あいコープみやぎの役職を辞任したうえで、この団体からの要請を受けて立候補に至っています。

生活協同組合は、消費生活協同組合法（昭和23年法律第200号）第2条第2項において「組合は、これを特定の政党のために利用してはならない」と規定されており、選挙の際には理事会、総代会等組合の機関で特定の政党又は候補者の支援を決定したり、組合の機関紙により特定の政党又は候補者を推薦するなど組織として特定の政党又は候補者を支援することはなく、政治的中立の確保に留意した運営を行ってきております。

多々良哲氏の今回の立候補については、個人の公民権行使としての立候補であり、県内の生活協同組合が、組織として立候補に関与したり、支援するものではありません。

宮城県内にある16の協同組合が加入し、宮城県生活協同組合連合会を構成しています。それぞれの生協法人は、別個の法人格を有し独立した運営を行っています。宮城県内には、生活協同組合あいコープみやぎ（組合員数13,115人、事業高23億円）とみやぎ生活協同組合（組合員数723,122人、事業高1,035億円）の2つの地域購買生協がありますが、両者は、人的にも組織的にも関係のない別個の法人であることも合わせてご報告します。

関係の皆さまには、生協の諸活動にご理解いただき、引き続きご支援、ご指導いただけますようお願い申し上げます。

以上